時 間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
9:00-						付					
9:50-10:00	【開会挨拶】 プロジェクトマネジメント学会会長 小玉 浩(NEC) 北海道支部長挨拶 川上敬(北海道科学大学)代理:副支部長 佐藤直孝(NTTデータ北海道)										
10:00-11:00	【キーノート1】 大学教育におけるプロジェクトマネジメント 河西 邦人 (札幌学院大学 学長)										
11:00-11:30	休憩										
	高橋 新一 (日本IBM)	木野 泰伸(筑波大学)	神野 学(日立製作所)	谷本茂明(千葉工業大学)	勝部 逸平(NTTデータ北海道)	山崎 晃(千葉工業大学)	湊 陽介(日本IBMデジタルサービ ス)	七田 和典(日本IBM)	吉澤 由比(NTTデータ)	森本 千佳子(東京理科大学)	
11:30-11:50	1101 ITインフラ構築プロジェクトにおける効率化及び品質向上に向けた取り 組みと有効性検証 金山淳一(日立製作所)	1201 予兆モデルを活用したプロジェクト失敗の予兆検知 鈴木宏明(日立製作所)	1301 PMの行動変容を目指した主体的かつ対話的なプロジェクトマネージメント教育の実践 杉野晴江(NECソリューションイノベータ)	1401 レジリエンスを導入した情報シス テム開発プロジェクト・チームの 編成に関する研究 荒木寿珠(文教大学)	1501 初学者のソフトウェア開発PBL実践 における課題と解決案 小星春緋(千葉工業大学)	1601 コンビニ等の夜勤労働者の有効活 用法についての実例と提案 中山翼(札幌学院大学)	1701 ソフトウェア開発PBLのためのデザ インレビューチェックリストの試 作 板倉宇寿(千葉工業大学)	1801 大規模組織におけるAgile開発の実 践とプロダクトオーナーのスキル 獲得の一考察 西山美恵子(クレスコ)		11001 リモートワーク環境下におけるシステムテストのプロジェクト管理 手法について 藤井緑(日本アイ・ビー・エム)	
11:50-12:10	1102 基幹システムのクラウド移設におけ るリスクマネジメント計画と実践 石井悠(日本電気)	1202 利他的行動の導入による顧客志向 行動の理論的考察 中原あい(文教大学)	1302 気づきに着目したPM育成の一考察 辻川直輝(NTTデータカスタマサー ビス)	1402 ボトルネック解明がIT運用業務の リードタイムを劇的に短縮させた 事例と考察 石井太一(リクルート)	1502 ヒューマンモデルによる統合的コミュニケーション構造整理の提案 原口直規(有人宇宙システム)	1602 プログラミング未経験者のIT人材 早期育成に向けたリメディアル教 育手法による要員調達の有効性に 関する考察 増田浩之(TDCソフト)	1702 継続的な事業成長を支える「強い 組織への進化」の取組み 皆川広之(日本電気通信システム)	1802 EVMのPV見積もり精度向上に関する 一考察 山本翔太(千葉工業大学)	1902 「七夕企画」でのプロジェクトマネジメントの効果と改善点について 川瀬美都(札幌学院大学)	11002 保守運用リーダーが着目すべき継 続的サービス改善のテーマの抽出 方法に関する一提案 松宮美穂(NTTデータ関西)	
12:10-12:30	1103 デジタル社会の実現に向けたデータ 利活用案件における要件調整プロセ スの提案 後藤大介(富士通)	1203 スルーブットのモニタリングに基 づいたサービスデスク改善活動 吉田昇平(リクルート)	1303 複数の小規模プロジェクトを担う プロジェクトマネージャーの育成 高橋達也(日本アイ・ビー・エムデ ジタルサービス)	1403 PM国際規格から見える理想と現実 端山毅(NTTデータ)	1503 フィーバーチャートを活用した産 業機械の進捗管理手法に関する研究 弘中諒(神戸製鋼所)	1603 DXの推進に影響を与える組織文化 の要因の調査 河村智行(慶應義塾大学)	1703 ERP導入における要件定義の進め方 の提案 広川敬祐(公立はこだて未来大学大 学院)	1803 異文化組織間知識移転プロセスの P2M視点に依るモデル化 遠藤洋之(北陸先端科学技術大学院 大学)	1903 大規模SIプロジェクトにおける第 三者によるソフトウェア品質の 「見える化」と品質保証の取り組 み 鍋谷祥子(日本電気)	11003 女子大学生 脚痩せプロジェクト 松原花(札幌学院大学)	
12:30-13:20											
12:00 10:20		高田 淳司(日本電気)	斎藤 祥(富士通)	千田 貴浩 (NTTデータ東北)	石井 知重(日本電気)	・込 -	越前 辰美(北海道日立システム	酒井 理江(日本電気)	高山 公章(日本電気)	木野 泰伸(筑波大学)	
13:20-13:40	1104	1204 コミュニケーションにおける対立 と配慮の関係の調査 蘇振博(千葉工業大学)	1304 PM育成における『ダブルPM』の有 用性に関する考察 久保恭彦(日立システムズ)	1404 エンタープライズアジャイルにお けるフレームワーク採用事例の特 徴 吉田知加(文教大学)	1504 共創ビジネスにおける顧客満足度 向上の実現に向けた取り組み 岡恭佑(富士通)	1604 m-SHELモデルを用いたUXに基づく 誤操作対策の提案 關口拓未(千葉工業大学)	ズ) 1704 複数プロジェクトにおける有識者 共有による資源マネージメント 高田健一(日立製作所)	1804 不確実性が高く複雑化したウォーターフォール開発へアジャイルメソドロジーを導入したハイブリッド型プロジェクトマネジメント手法の提案 七田和典(日本アイ・ビー・エム)	1904 ベイジアンネットワークを用いた 製品別上位顧客の購買傾向の分析	11004 スクラム型開発疑似体験ワーク ショップの事例紹介 谷川麻理(東京都立産業技術大学院 大学(研究委員会))	
13:40-14:00	1105 多国籍マルチベンダーのSaaSを活用 するシステム開発のプロジェクト計 画と管理 大野彩(日本アイ・ビー・エム)		1305 プロセスマイニング技術を活用し た超短期間でのDX人材育成事例 中山翔太 (NTTデータ)	1405 エンターブライズ向けアジャイル 開発におけるスコープマネジメン トの考察 中本傑(NTTデータ)	1505 拡大するステークホルダのマネジ メントに関する研究 加藤真実 (文教大学)	1605 海外法人との連携における品質リスク低減のためのワークストリーム適用事例 古田莉央(日立製作所)	1705 システム開発プロジェクトにおけるニアショア導入に関する考察 迫佳志(日本アイ・ビー・エム)	1805 優良顧客を対象とした印刷素材に おける購買傾向の可視化 内山雄人(千葉工業大学)	1905 生体認証を利用したシステムの構築におけるプロジェクトマネジメント 大田駿介(日本電気)	11005 転職経験と仕事への取り組み方の 関連について 三好きよみ(東京都立産業技術大学 院大学(研究委員会))	
14:00-14:20	1106 大規模ミッションクリティカルシス テムにおける商用維持管理作業の品 質管理に関する考察 市岡亜由美 (NTTデータビジネスシス テムズ)	運用チームのコミュニケーション に関する一考察	1306 プロジェクトの成功確保に向けた メンバの離任防止策に関する研究 青柳福美(文教大学) 発表中止			1606 情報システムの本番作業の品質向 上活動の一事例 今村公嗣(NTTデータ)	1706 チーム活動をより良くするための 反省会の有効活用手法 ダンフータック(札幌学院大学)	1806 テレワーク時代におけるリモー ト・マネジメントの在り方 橋口宏樹(日立製作所)	1906 システム開発プロジェクトにおける統合変更管理実施の課題 花嶋滋雨(日本アイ・ビー・エム)	11006 熟練プロジェクトマネジャーが持 つ暗黙知の抽出に関する研究計画 木野泰伸(筑波大学(研究委員 会))	
	1107 大規模プロジェクトにおけるマトリ クス組織型の現場マネジメントを経 験して考えたこと 豊島直樹(SOMPOシステムズ)		1307 達成感を得ながら成長意欲を促 す、人材育成活動の提案 畑伸二郎(日本電気)	1407 アジャイル型開発初期参入時のス クラムチーム体制構築における対 策と効果 高峰慎平(NTTデータ ビジネスシス テムズ)	ける上流工程マネジメントに関する考察		1707 クラウド時代のグローバル体制に おけるプロジェクト推進やチーム マネジメントの事例紹介 李静嫻(日本電気)	1807 リモートワークを適用したITプロ ジェクトマネジメント事例 若松禎之(NTTデータ)	1907 組織構造におけるプロジェクトの 集合体の売上予測 清水裕斗(日立ソリューションズ・ クリエイト)	ネジメント	
14:40-15:00				-	体	憩					
15:00-15:20	【表彰委員会】										
15:20-16:10		【スペシャルレクチャ(1)】 「MLSEによるモダンPMのアップデート −機械学習工学を適用した新たなプロジェクトマネジメントへの挑戦−」 浦川伸ー(損害保険ジャパン株式会社取締役専務執行役員)									
16:10-17:00		【スペシャルレクチャ (2) 】 「北海道老舗酒蔵の酒造りプロジェクトの昔と今」 南修司、小林米秋 (小林酒造株式会社)									
17:00-17:30		ネットワーキングへ移動									
17:30-19:00					ネットワーキング 会地	場:ホテルエミシア札幌					

## プロジェクトマネジメント学会2022年度秋季研究発表大会プログラム第2日 (9月9日) 於:札幌学院大学 新札幌キャンパス

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
00-					受	付					
:00-11:00	【キーノート2】 持続可能な社会の実現に向けたイノベーション・マネジメント 山田 昭雄(日本電気株式会社 執行役員 兼 研究開発部門長)										
:00-11:20					休						
	堀 賢志(日本電気)	高田 淳司(日本電気)	大石 達哉(富士通)	下田 篤(千葉工業大学)	藤﨑 聡(日本IBMデジタルサービ ス)	中野 和哉(日立製作所)	泉 友弘 (NTTデータ)	吉田 知加(文教大学)	小笠原 秀人(千葉工業大学)	勝部 逸平(NTTデータ北海)	
:20-11:40	2108 大規模プロジェクトの上流工程マネ ジメント 吉田政史(日立製作所)	2208 機能共鳴分析手法FRAMを用いた CCPM適用時の分析法の検討 日下部茂(長崎県立大学)	2308 若手PMの育成 湊陽介 (日本アイ・ビー・エムデジ タルサービス)	2408 アフターコロナ及びDX時代に向け てPMOが為すべきこと 中島雄作(NTTデータ先端技術)	2508 住民情報パッケージビジネスにお ける複数プロジェクトマネジメン トのツールチェーン活用事例 黒田一光 (NECネクサソリューショ ンズ)	2608 品質管理における思考プロセスの 形式知化の取り組み 高橋結芽(日本電気)	2708 分散開発における新規ニアショア 拠点立ち上げ事例について 土屋泰(日立社会情報サービス)	2808 コロナ禍における部門運営の課題 対応に関する事例紹介 山倉勉(日本アイ・ビー・エムデジ タルサービス)	2908 ソフトウェアドキュメント検証の 社内推進活動 吉村直人(日本電気)	21008 研究開発における従来型管理法 アジャイルの融合に関する一考 新谷幸弘(千葉工業大学(研究委 会))	
:40-12:00	2109 自動化ツールを活用した大量データ 移行案件におけるプロジェクトマネ ジメントの考慮点 山廣佑樹(日本電気)		2309 PDPC法を応用したPMメンタリング 指導の工夫と配慮 角正樹(NTTデータユニバーシティ)	2409 チームビルディングにおけるコ ミュニケーション再考 森本千佳子(東京理科大学)	2509 プロジェクトの成功に向けた仕組 み整備と取り組みのポイント 平方泰光(NTTデータ)	2609 CMMIに基づくサービス提供プロセ ス改善に関する一考察 中村英恵 (NTTデータ)		2809 実判例から見るプロジェクトの情報提供義務とマネジメント義務 曽我純映(日立ソリューションズ)	2909 アートプロジェクトにおける契約 書類の有用性 宇田川耕一(北海道教育大学)	21009 プロジェクトマネジメントを認め する動機付けの考察 櫻澤智志(日本アイ・ビー・エム ジタルサービス)	
2:00-12:20	2110 ニューノーマルな働き方における中 途採用者のプロジェクト受け入れ時 のコミュニケーションマネジメント 深澤和哉(日本アイ・ビー・エムデ ジタルサービス)	ジメントの関連性	ける課題管理について	2410 変化の激しいデジタル時代を勝ち 抜く組織運営 渡邉優作 (NTTデータ)	2510 顧客向け進捗報告と課題管理業務 による若手のプロジェクトマネジ メントカ向上 赤澤鼓(日本電気)	2610 ローコードツールを用いたアジャイル開発における品質確保の実践 土屋美帆(日本電気)	2710 日本企業のグローバルプロジェク トにおける効率的なコミュニケー ションマネジメント 山吉俊郎(日立製作所)	2810 WFHにおける「5 Generations in the workplace」の考察 阿部秀城(日本アイ・ビー・エムデ ジタルサービス)	2910 プログラムマネジメントにおける ライフサイクル改革についての考 察 高橋新一(日本アイ・ビー・エム)	21010 システム特性を考慮した規模見む りに関する考察 青野朝日(日立製作所)	
2:20-13:20					<b>I</b>	<b></b>					
3:20-14:20	[キーノート3]										
1:20-14:40	休憩										
	坂井 匡(富士通)	坂上 慶子(日立アカデミー)		三好 きよみ(東京都立産業技術 大学院大学)	高橋 達也(日本IBMデジタルサー ビス)	下田 篤(千葉工業大学)	角 正樹 (NTTデータユニバー シティ)	中島 雄作 (NTTデータ先端技 術)	櫻澤 智志(日本IBMデジタルサー ビス)	松沢 剛(富士通)	
:40-15:00	けるプロジェクトマネジメントの留	2211 ユーザーとの共創を促進させる実践的教育 石原寛紀(日本アイ・ビー・エム)	Young Crew イベント テーマ: 「IPMAの知見から始める若手PMの	2411 AIを活用した不調プロジェクトの 予兆検知 山本昭典(日立ソリューションズ・ クリエイト)	2511 プロジェクトにおける計画段階からのリスク想定の取り組み 内野善啓(NECソリューションイノ ベータ)	2611 プロジェクト主導の持続的なプロセス改善を支援する伴走型OJTの実践 熊川一平(NTTデータ)	2711 在宅勤務環境下におけるニアショ ア開発プロジェクトチームの立ち 上げに関する考察 尾崎正行(日本アイ・ビー・エムデ ジタルサービス)	2811 テレワークを利用したプロジェク トにおけるコミュニケーション課 題の改善事例 宮崎琢磨 (日本アイ・ビー・エムデ ジタルサービス)	2911 ティール組織の発想をプロジェクトにも適用できるか検証してみた 三上晃司(日本アイ・ビー・エム)	21011 新卒採用におけるWell-being志f マネジメントの一提案 鈴木加代子(NTTデータ先端技術)	
	廣川陽祐(日本アイ・ビー・エム)	ル向上事例紹介	成長に向けたコンピテンスの獲得」 参加対象: 35歳以下のPMに関わる及び興味がある社会人、学生	2412 重大障害発生時における点検方法 と進捗管理の仕組みを改善し対応 期間の短縮 渡邉勝也(富士通)		2612 海外ベンダと協業する際の品質マネジメントにおける譲歩と堅持 木浪正治 (NECソリューションイノベータ)	2712 プロジェクト振り返りによる成功 確率向上に関する考察 宮田剛(MECマネジメントパート ナー)	2812 ニューノーマル時代における新入 社員研修の一事例 福島奈津子(NTTデータ先端技術)	2912 現代のシステム導入におけるプロ ジェクトマネジメント 伊藤博隆(日立製作所)	21012 リモートワークにおけるプロジ: クトチームの育成 佐藤雅子(日本アイ・ビー・エム ジタルサービス)	
		2213 プロジェクトの重要成功要因であ る顧客ニーズを具現化する価値提 供人材育成の取組 原田雄一(NTTデータ)	内容: IPMAのコンピテンスやYoung Crew 活動 (グローバル連携やイベント など) による知見をYoung Crewメ ンパが紹介するとともに、参加す る若手PM同士の現場での経験や課	2413 DX技術を活用した東日本大震災に 関わる非構造化データの可視化に よる震災ナレッジ共有の取り組み 後藤直也(NTTデータ東北)		2613 品質向上活動の事例 村上ひとみ(日本アイ・ビー・エム デジタルサービス)	2713 リモート開発センターにおける品 質向上のための取り組み 新谷のどか(日本アイ・ビー・エム デジタルサービス)	発センターにおける新規参画社員	2913 速報用RFPインスペクションの開発 と適用 谷寿人(日立ソリューションズ) 発表中止	21013 プロジェクトライフサイクルの行 環を見据えた管理プロセスの標準 化 吉田祥子(NECソリューションイ ベータ)	
		0011	題を共有することで新たな気づき や知見を得る機会とします。ま	2414	2514	2614	   2714   変革型チームビルディング	2814	2914		